

## 令和6年度 第2回 Cherish の会セミナー報告

2024年11月17日(日)

Cherish の会 小竹真紀

2024年11月17日(日)14:00よりCherishの会セミナーが刈谷市総合文化センターにて開催されました。「いろいろなモダリティで多角的に乳腺疾患を読影しよう」というテーマのもと、読影のための基礎知識講座と症例検討会の二本立てで行われました。本セミナーでは富士フィルムメディカル株式会社、コニカミノルタジャパン株式会社ヘルスケアカンパニー、ホロジックジャパン株式会社、GEヘルスケア・ジャパン株式会社にご協力いただき、各社のデジタルマンモビューワを実際に使用して症例検討会が行われました。参加者は55名(会員48名、非会員4名、臨床検査技師3名)でした。

読影のための基礎知識講座ではマンモグラフィ、乳腺エコー、MRIの3つのモダリティにおける読影の基礎知識やカテゴリー分類の方法を学びました。マンモグラフィを藤田医科大学病院の千田彩加会員、乳腺エコーを安城更生病院の平沢文香会員、MRIを刈谷豊田総合病院の石黒健太会員にご講演いただきました。各モダリティの読影方法や診断樹をもとにしたカテゴリー分類について、豊富な症例画像とともに説明していただきました。



後半の症例検討会では6グループに分かれ、グループ毎に1台のデジタルマンモビューワを使用して読影とカテゴリー分類の判定を行いました。1つの症例におけるマンモグラフィ、乳腺エコー、MRIを読影し、所見用紙と診断樹をもとにカテゴリー分類を行っていき、1症例毎に解説を行い、参加された方々は自身の所見用紙に記した内容と解説された内容を照らし合わせながら熱心に聞いていました。今回は腫瘍性病変について3症例を検討しましたが、最後の3症例目では読影するのにも慣れ、グループ内での意見交換が活発になった印象を受けました。

今回は久しぶりの会場型でのセミナーとなりましたが、乳腺の検査に携わって日が浅い方から長い方まで幅広い経験年数の方にご参加いただき大変嬉しく思います。参加された皆様にとって有意義な時間であり、また各社のデジタルマンモビューワに触れる良い機会

になったと考えております。今回のセミナーでは腫瘍性病変に絞って症例検討会を行ったため、来年度は非腫瘍性病変について開催できるよう準備していく予定です。

